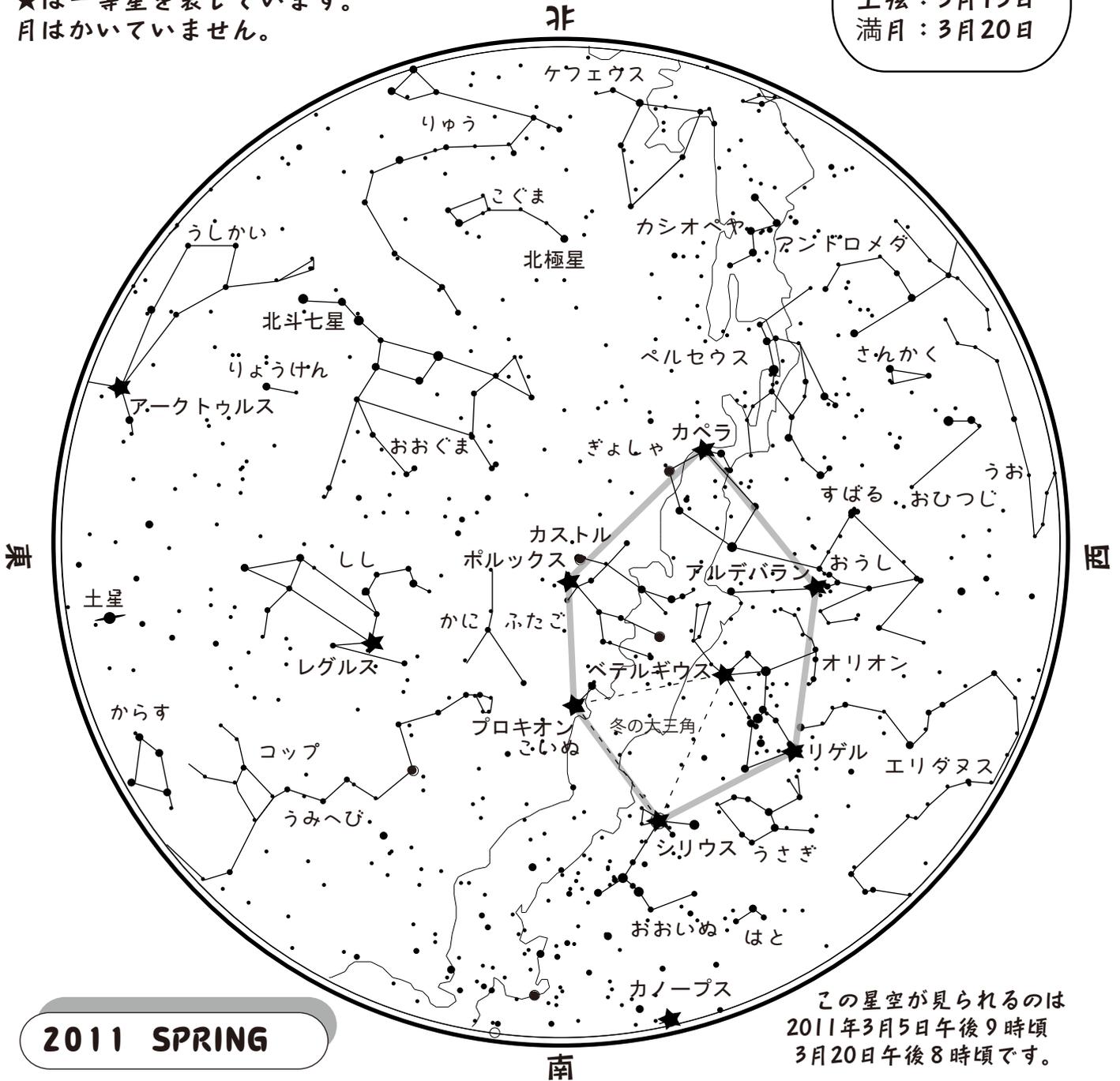


★ 姫路で見る3月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
 この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
 ★は一等星を表しています。
 月はかいていません。

新月：3月5日
 上弦：3月13日
 満月：3月20日



2011 SPRING

この星空が見られるのは
 2011年3月5日午後9時頃
 3月20日午後8時頃です。

南西の空には、砂時計の形に似た星並びのオリオン座があります。オリオン座のベテルギウス、おおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンを線で結んでつくる「冬の大三角」はもうおなじみですね。頭の上にはふたご座の仲よし星ポルックスとカストルや、ぎよしゃ座の一等星カペラが輝いています。また、おうし座の肩のところにあるすばる（プレアデス星団）も見逃せません。街灯りの少ない場所ですばるの星を数えてみましょう。

東の空には春の星座たちが姿を見せています。かに座、しし座、うみへび座はギリシャ神話では、人々を困らせていた化け物星座として登場しています。まずは、？(はてな)の裏返しに似た星並びと一等星のレグルスを目印に、しし座から探してみましょう。かに座には明るい星がないですが、双眼鏡を使うとプレセペ星団を見ることができます。うみへび座はこいぬ座を食べようとしているようです。そのへびの体は星座の中で最長！なんと、夏の星座のてんびん座あたりまで続いているのです。